



第695回

定期演奏会

鈴木雅明の
ドヴォルザーク「交響曲第6番」&
ジョシユア・ブラウンのベートーヴェン

ヴァイオリン：
ジョシユア・ブラウン★
Violin: Joshua Brown★
©Sebastian Orr

2024年エリザベート王妃
国際音楽コンクール
ヴァイオリン部門
第2位入賞!

指揮：
鈴木 雅明
Conductor: Masaaki Suzuki
©Marco Borggreve

京都市交響楽団

The 695th Subscription Concert of the City of Kyoto Symphony Orchestra

2024
11/16 午後2時30分開演
(午後1時30分開場)

Sat, November 16, 2024 / 2:30PM

モーツァルト：歌劇「ドン・ジョヴァンニ」序曲

ベートーヴェン：ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 作品61★

ドヴォルザーク：交響曲 第6番 ニ長調 作品60

Mozart: "Don Giovanni", opera K.527 - Overture

Beethoven: Violin Concerto in D major op.61★

Dvořák: Symphony No.6 in D major op.60

開演前
は指揮者による
「プレトーク」で
お楽しみください。
午後2時ごろから
「プレトーク」はホール・ステージ上
にて開催します。

指揮者
及び
曲目一部変更!

当初出演予定の沖澤のどかから
鈴木雅明に指揮者を変更し、
曲目も一部変更して
開催いたします。

2024
9/21
から発売

京都コンサートホール Kyoto Concert Hall

京都市営地下鉄烏丸線「北山」駅下車、出口1・3番から南へ徒歩約5分

入場料 | ¥5,500円 ¥4,000円 ¥3,000円 ¥2,000円 (舞台後方席) | U22 (当日残席がある場合のみ発売) | ¥2,000円 ¥1,500円 ¥1,000円 ¥1,000円

※「U22」は22歳以下のお客様が対象です。開演1時間前から発売(当日券売場にてお買い求めください)。電話や窓口での事前予約はできません。席種は選べますが、座席指定はできません。ご購入及びご入場の際には年齢の確認できる証明書をご提示ください。

チケット
ご予約
●京都コンサートホール (075) 711-3231 ●ロームシアター京都 (075) 746-3201
●24時間オンラインチケット購入 <https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/>
●チケットぴあ <https://t.pia.jp/> Pコード252-733
●ローソンチケット <https://l-tike.com/> Lコード55737

お問い合わせ

京都市交響楽団 (075) 222-0347 <https://www.kyoto-symphony.jp/>
京都コンサートホール (075) 711-3231 <https://www.kyotoconcerthall.org/>
◎未就学のお子様のご入場はお断りいたします。
◎都合により曲目、出演者等が変更となる場合がございます。



◆1歳以上未就学のお子様は「託児ルーム」(有料・要予約・定員10名)をご利用ください。(お子様お1人につき1,000円/2024年11月8日までに京響075-222-0347へお申し込みください)
◆10枚以上のチケットお申し込みには団体割引(10%OFF)があります。京響(075-222-0347)までお問い合わせください。
◆障がいのある方ご本人及び介助の方1名に限り1割引いたします。京都コンサートホール・ロームシアター京都のみで取扱います(窓口で手帳等の証明書をご提示ください)。



主催：公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団 京都市

協賛：ローム株式会社

協力：株式会社ドルチェ楽器

後援：(株)エフエム京都

発行：公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

美しいひびき、感動にみちた
音楽との出会いをお届けします。



The 695th Subscription Concert of the City of Kyoto Symphony Orchestra

バッハ・コレギウム・ジャパンを率いて世界的に活躍する指揮者の鈴木雅明が、京響定期に初登場！今回は、多彩で幅広いレパートリーの中から、演奏機会は少ないものの、ドヴォルザークの魅力あふれる交響曲第6番を、緻密な解釈でお聴かせします。ジョシュア・ブラウンは新進気鋭のヴァイオリニストです。シカゴ音楽院、ニューイングランド音楽院で学び、15歳の時にクリーブランド管弦楽団にデビュー。2016年ストラディヴァリウス国際ヴァイオリン・コンクールで最優秀賞を受賞。2019年第10回レオポルト・モーツァルト国際ヴァイオリン・コンクールで優勝。他にも様々なコンクールで優勝して“ソウルフルで繊細”、“中毒になるくらいの煌めき”と評され、2024年6月のエリザベート王妃国際音楽コンクールでは第2位入賞を果たした24歳の俊英の登場です！秀作ベートーヴェンのヴァイオリン協奏曲を、若きソリストによる新鮮な現代の演奏でお楽しみください。

指揮 ◆ 鈴木 雅明

1990年バッハ・コレギウム・ジャパン(BCJ)を創設以来、バッハ演奏の第一人者として名声を博す。近年は海外のバロック・アンサンブルへの客演に加え、モダン・オーケストラとの共演も活発に行い、多彩なレパートリーを披露。近年では、ベルリン・ドイツ交響楽団、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団、ニューヨークフィル、サンフランシスコ交響楽団などと共演を重ねている。2023/24年シーズンは、ロサンゼルス・フィルハーモニー管弦楽団、フランクフルト放送交響楽団、サンパウロ交響楽団にデビューするほか、モントリオール交響楽団、NHK交響楽団、スペイン国立管弦楽団、ヘンデル・ハイドン管弦楽団などと再共演を行う。24年夏には、BCJとBBCプロムスを含む7都市のヨーロッパツアーを行う。BISレーベルからリリースされている鈴木印象的なディスコグラフィは、バッハの主要な合唱作品とチェンバロ作品全集を網羅しており、多くの批評家から称賛を浴びている。タイムズ紙は「彼の歯切れの良さ、冷静さ、精神的な活力に感動しないのは鉄の棒でなければならぬだろう」と書いている。最近収録した、バッハの「聖ヨハネ受難曲」と「聖マタイ受難曲」はグラモフォンから賞を受賞した。神戸出身。東京藝術大学作曲科およびオルガン科、アムステルダム・スウェーリンク音楽院に学ぶ。東京藝術大学古楽科を設立し、2010年まで20年にわたり教鞭を執った。2001年ドイツ連邦共和国功労勲章功労十字小綬章、2011年紫綬褒章など受賞。2012年ドイツ・ライプツィヒ市より「バッハ・メダル」、ロンドン王立音楽院・バッハ賞を受賞。2013年度神戸市文化賞、サントリー音楽賞をBCJと共に受賞。現在、イェール大学アーティスト・イン・レジデンス、シンガポール大学ヨン・シウ・トウ音楽院客員教授、神戸松蔭女子学院大学客員教授、東京藝術大学名誉教授。

X: @MSuzukiBCJ Instagram: @masaaki_bcj



©Marco Borggreve

Conductor: Masaaki Suzuki

ヴァイオリン ◆ ジョシュア・ブラウン

独特の音楽性豊かな音色と生まれ持った才能を称えられ、世界中で演奏とコンクールに成功をおさめるジョシュア・ブラウンは、15歳でクリーブランド管と共演し初めて注目され高評を得たデビューに続き、国内外の多くのオーケストラと共演を重ね、評論家から絶えず賞賛を集めている。2024年6月ベルギーで開催された歴史あるエリザベート王妃国際音楽コンクールで第2位入賞、聴衆賞であるMusiq3賞とVRT Canvas-Klara賞も同時受賞した。2023年、北京のグローバル音楽教育連盟国際ヴァイオリン・コンクール優勝。2019年、19歳で第10回レオポルト・モーツァルト国際ヴァイオリン・コンクール優勝及び聴衆賞受賞。また、2022年第11回インディアナポリス国際ヴァイオリン・コンクール入賞のほか、クロンベルク・アカデミーのマンフレッド・グロメック賞、クーパー国際ヴァイオリン・コンクール第2位、全米ヤングアーツ賞、ルミナーツ文化財団奨学生、ピラストロ・アーティスト等にも選ばれている。クリーブランド管、ミュンヘン放送管、MDR響、インディアナポリス響等、欧米のオーケストラと共演。ワシントンD.C.のケネディ・センター、ニューヨークのカーネギーホール、北京の国立舞台芸術センター・コンサートホール、ザルツブルクのモーツァルトテウム財団等で演奏するほか、NPRのフロム・ザ・トップ、WFMT、WNIU、WCLW等のラジオ、Fox5DCテレビ、ブラジルのテレビ・レコー、アルゼンチンのラジオ・ナショナル・クラシカFM 96.7にも出演。リサイタル・シリーズや室内楽音楽祭でも、モスクワのチャイコフスキー音楽祭、ニューヨークのジュピター室内楽プレーヤーズ・シリーズ等で定期的に演奏。全額奨学生として音楽士号を取得し、現在D.ワイラースタインのもと修士号取得に向けてニューイングランド音楽院で研鑽を積んでいる。それ以前の5年間はアルミタ&ローランド・ヴァモスのもと、シカゴ音楽院アカデミーで奨学生として学んだ。使用楽器は、メアリー・B・ガルヴィン財団及びストラディヴァリ協会の厚意により長期貸与された1635-40頃クレモナ製ニコロ・アマティ。 Instagram: @joshuabrownviolinist



©Sebastian Orr

Violin: Joshua Brown

京都市交響楽団

1956年に創立し、日本で唯一、自治体が設置し、運営に責任を持つオーケストラ。2015年、第12代常任指揮者の広上淳一とともに「第46回サントリー音楽賞」受賞、同年6月、広上淳一指揮のもとヨーロッパ公演で成功を収めた。平成28年度地域文化功労者表彰、2017年「第37回音楽クリティック・クラブ賞」本賞等を受賞。2020年4月、第13代常任指揮者兼芸術顧問に広上淳一(2022年3月まで)、首席客演指揮者にジョン・アクセルロッド(2023年3月まで)が就任。2008年4月から2022年3月まで14年間にわたり常任指揮者を務めた広上淳一のもとでは、数々の名演を生み出して黄金時代を築き上げた。2023年4月から第14代常任指揮者に沖澤のどかが就任、さらに2024年4月からは首席客演指揮者にヤン・ヴィレム・デ・フリーントが就任。京響は今、文化芸術都市・京都にふさわしい「世界に誇れるオーケストラ」として更なる前進を図っている。



©井上写真事務所 井上嘉和

City of Kyoto Symphony Orchestra

次回予告



ガエタノ・デスピノーサ

特別演奏会

「第九コンサート」

2024.10/11 ⑨から発売!

ガエタノ・デスピノーサ指揮の第九

4人の独唱、京響コーラスと共に大切な人と過ごす年の瀬に

2024 12/27(金) 午後7時開演 | 2024 12/28(土) 午後2時30分開演

会場 京都コンサートホール 指揮 ガエタノ・デスピノーサ 合唱 京響コーラス

独唱 隠岐 彩夏(ソプラノ) 藤木 大地(カウンターテナー) 城 宏憲(テノール) 大西 宇宙(バリトン)

曲目 ベートーヴェン：交響曲 第9番 二短調 作品125「合唱つき」

入場料 ⑤5,500円 ④5,000円 ③4,000円 ②3,000円